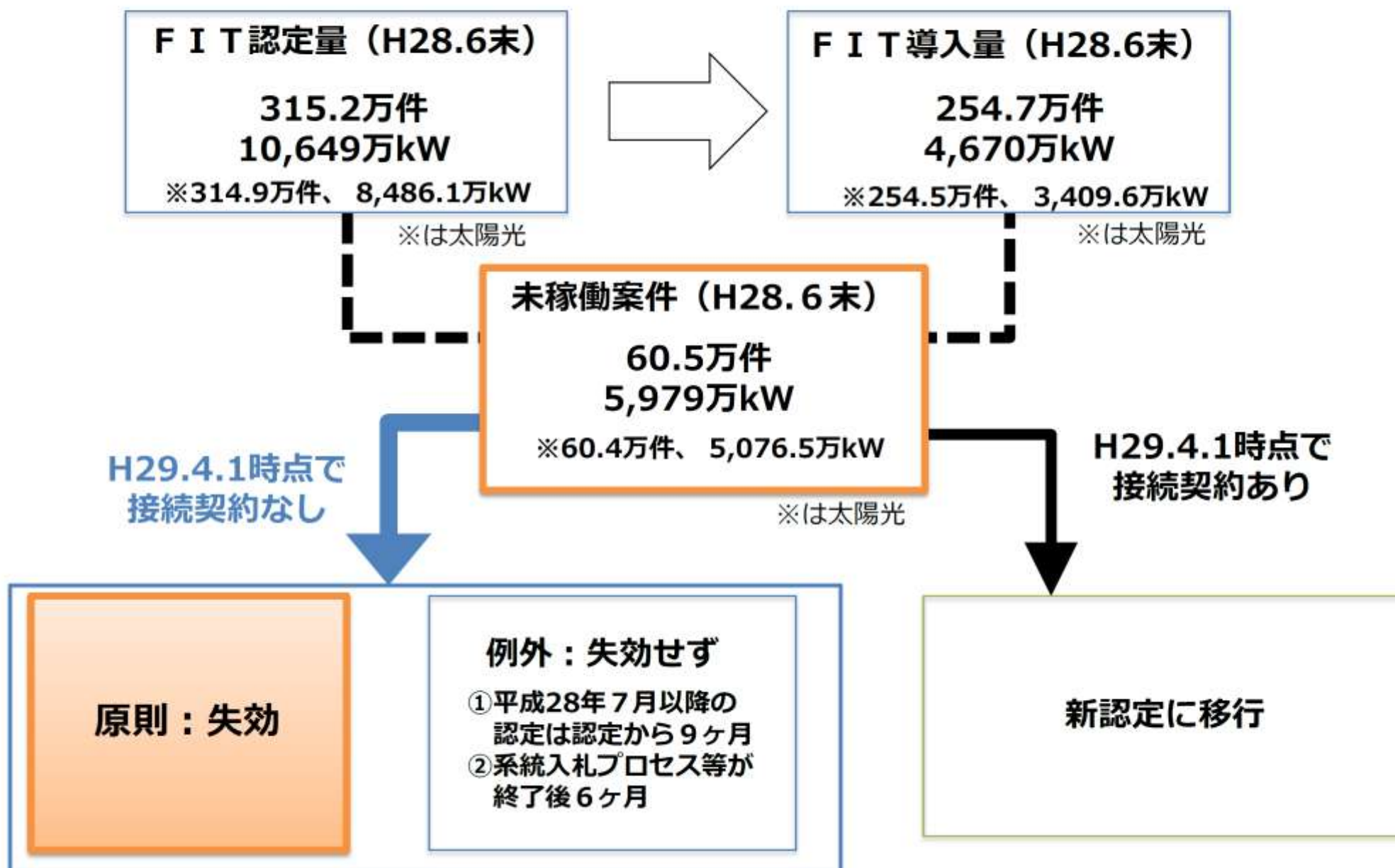


- 従来のFIT認定制度は、「認定」取得後に、電力会社へ接続申込みをする仕組であり、結果として大量の未稼働案件が発生していた。
- 今回のFIT法の改正で、原則として、**平成29年3月31日までに系統の接続契約ができないものは、改正FIT法施行日（平成29年4月1日）に認定が失効。**
 （例外：①平成28年7月1日以降に認定を取得した者は、認定から9ヶ月間
 ②系統入札プロセス等に参加していた・参加中の者は、プロセス終了後6ヶ月間）
- 今回、**平成29年4月1日時点の認定失効の件数等**について、一定の条件の下で試算を行い、**暫定推計値**を算出。

<認定失効見込み>

エリア	A 平成28年6月末のFIT認定数（新規＋移行）	B 平成28年6月までに接続申込を行った案件のうち、平成29年3月末の接続契約締結済数 C []内は系統入札プロセス等対象(Bの外数)	認定失効見込み ※ A - (B + C)
全国	315.2万件 10,649万kW	269.5万件 7,356万kW 【0.2万件 527万kW】	45.6万件 2,766万kW

※実際には、B以外にも平成29年3月末までに接続契約を締結した案件もあるため、平成29年4月1日時点の認定失効はこれよりも小さくなると考えられる。



【参考】認定失効（暫定推計値）の詳細

エリア	A 平成28年6月末の FIT認定数（新規＋移行）	B 平成28年6月までに接続申込を行った案件 のうち、平成29年3月末の接続契約締結済数 C [] 内は系統入札プロセス等対象(Bの外数)	認定失効見込み A - (B + C)
北海道	4.9万件 365万kW	3.7万件 262万kW 【0.0万件 0万kW】	1.2万件 103万kW
東北	21.8万件 1,893万kW	18.0万件 1,274万kW 【0.0万件 245万kW】	3.8万件 374万kW
東京	92.3万件 2,627万kW	79.7万件 1,831万kW 【0.1万件 127万kW】	12.5万件 669万kW
中部	56.2万件 1,223万kW	49.2万件 978万kW 【0.0万件 0万kW】	7.0万件 245万kW
北陸	4.4万件 158万kW	3.7万件 100万kW	0.6万件 58万kW
関西	41.4万件 880万kW	36.9万件 647万kW	4.5万件 233万kW
中国	25.1万件 851万kW	21.9万件 611万kW 【0.0万件 1万kW】	3.2万件 240万kW
四国	12.9万件 381万kW	11.1万件 281万kW	1.8万件 100万kW
九州	52.7万件 2,204万kW	42.4万件 1,327万kW 【0.1万件 154万kW】	10.2万件 723万kW
沖縄	3.5万件 66万kW	3.0万件 45万kW	0.6万件 20万kW
全国	315.2万件 10,649万kW	269.5万件 7,356万kW 【0.2万件 527万kW】	45.6万件 2,766万kW

- ・ 系統入札プロセスのステップ（応募締切済、入札締切済、完了）ごとの応募・入札・工事費負担金補償契約済の容量・件数を認定失効見込みから控除している。
なお、系統入札プロセスはこれまでに32件行われ、2件が完了し、現在進行中のものが30件（うち、平成29年3月31日時点で応募締切済みのもの24件、応募締切前のもの6件）ある。
- ・ 容量の算定に際し、バイオマス発電のバイオマス比率は考慮していない。
- ・ 認定失効見込みの中には、そもそも接続契約を申し込んでいないものがある。
したがって、認定失効と系統の混雑状況には直接的な関係がなく、具体的な系統混雑状況については、各電力会社が地点ごとに公表する数字を参照する必要がある。
- ・ 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。